



# NADPZ

NOVEMBER/ DECEMBER  
2024

WELCOME TO OUR

## *End of Year Newsletter*

### レジリエンス（回復力、適応力）による再生：2024年、ザンビアの団結と希望の旅



2024年はザンビアにとって多くの試練をもたらし、その人々の強さとレジリエンスを試す年となりました。2023/2024年の雨季後に続いた壊滅的な干ばつは、全国的に前例のない混乱を引き起こしました。20時間以上の停電が日常となり、国の主食であるトウモロコシの90%が壊滅しました。多くの家庭が1日1食の提供にも苦勞する中、川床、湖、小川、井戸といった水源が干上がり、新鮮な水へのアクセスが日々の闘いとなりました。



しかし、このような困難の中で、自然農法農家たちは驚くべきレジリエンスを示し、最も厳しい時期においても団結とコミュニティの力が勝ることを証明しました。これらの農家たちは互いに支え合い、直面した逆境に屈することなく立ち向かいました。彼らは女性の権利を擁護し、団結の力を示すために女性の日の祝典で手を取り合って行進しました。また、キャッサバのような干ばつに強い作物の栽培に関する知識を共有し、この重要な情報を協同組合のすべてのメンバーに届けました。この協力と革新の精神は多くの人々に希望をもたらし、農家たちは厳しい環境の中で適応し生き残るために共に働きました。



特に感動的な成果は、カベタ技術訓練センターでのもので、これまでで最も多くの学生が入学しました。この入学者数の増加は、若者たちが未来を切り開くために必要なスキルと知識を身につけ、現代社会の課題に立ち向かう決意を反映しています。

また、中央州のムンブワ組合やチパタのシンダ組合は、自然農法プロジェクトへの積極的な貢献で際立ちました。特にシンダ組合は、干ばつ中でプロジェクトの今まで自家採種されてきた自然農法種子が完全に消滅するのを防ぐ上で重要な役割を果たしました。これらの種子は他の自然農法メンバーに配布され、他の地域で自家採種を再始動させ、全国の自然農法の未来を守る手助けをしました。

ペンバ地区でも進展が同様に明らかでした。小学校の新しい教室は、増加する生徒数に必要なスペースを提供し、より多くの子供たちが教育を受けられるようになりました。新しい校長先生の指導の下で、今年も7年生が卒業試験を受け、そのうち多くの生徒はコミュニティの高校へ進学しました。この成果は、困難に直面しても教育が機会を生み出す力を持っていることを示しています。

2024年を支配した困難にだけ目を向けるのは簡単ですが、その背景で花開いた日常のレジリエンスと決意を認識することも同様に重要です。自然農法の農家たちは、自分たちの仕事の原則を信じ続け、持続可能な農業の力とコミュニティの強さを受け入れました。彼らの献身を通じて、農業の持続可能性を強化しただけでなく、困難な時期に集団の利益を優先するという先住民文化の価値を再び燃え上がらせました。

日本およびアメリカの秀明の皆様のご継続的な支援は、これらの努力において非常に重要であり、その揺るぎない連帯に深く感謝しています。秀明の若者を今年8月に迎え、ザンビアプロジェクトの20周年を祝うことを楽しみにしています。この節目は、長年にわたるパートナーシップと共有されたビジョンがいかに深い影響を与えてきたかを反映しています。

現在、雨が戻り、景観が一変したことで、新たな希望の感覚が芽生えています。一度は砂漠のように干上がった土地が、今では緑に覆われ、芽生えた草の勢いは再生と忍耐の強力な象徴となっています。この雨の恵みは大地に命を吹き込み、農家たちの精神を活気づけ、持続可能な未来を築き続けるための新たな決意を与えました。

2024年を振り返るとき、一つの教訓が明らかです。それは、「私たちは一人ではなく、共にあるときこそ強くなれる」ということです。団結、思いやり、そして集団的な行動を通じて、最も困難な課題さえも乗り越えられることを証明しました。私たちは希望と決意を胸に、将来の機会と課題に向けて共に歩み続けます。

バーバラ・ハチプカ・バンダ  
プロジェクトコーディネーター